問題用紙

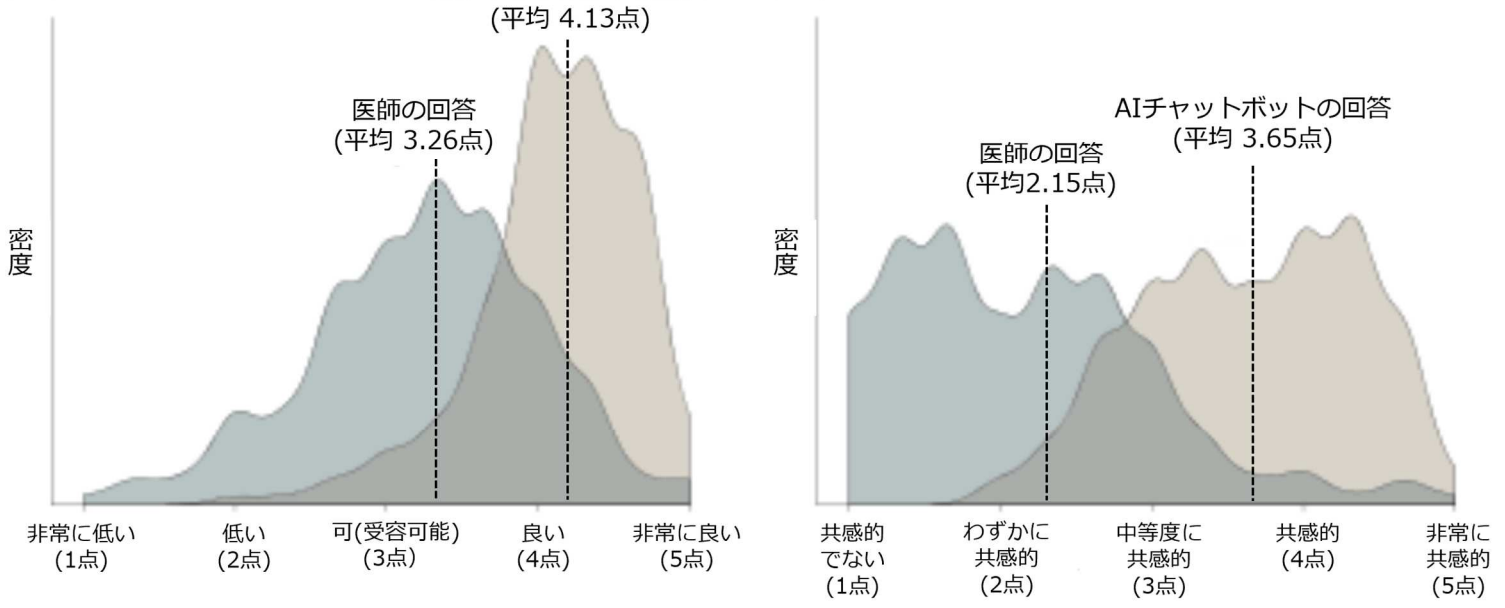
問１　以下の文章を読み、設問１）、２）に答えなさい。

近年、オンライン診療や電子的な患者メッセージ（医師への質問機能や医療相談掲示板）が急増し、医師の負担や燃え尽き症候群（バーンアウト）が深刻化していると報告されている。特に、診療予約や検査結果の確認といった単純な事務的メッセージだけでなく、診断や治療に関連する相談が増加しており、医師に高い労力と時間を要求している。このような状況の中で、人工知能（AI）の活用が注目されている。

2022 年に米国の研究者らが行った調査では、インターネット掲示板に投稿された患者からの健康相談に対し、医師の回答と AI チャットボット（ChatGPT）の回答を比較した。195 件の質問と回答をランダムに選び、複数の医療従事者が「質」や「共感性」の観点から評価した結果、図に示す通りであった。また、回答の分量については AI チャットボットが中央値 211 語（168–245 語）、医師が 52 語（17–62 語）であり、AI の方が多かった。

この研究結果は、AI が患者メッセージへの一次的な応答文案を作成し、医師が確認・修正を行うという新たな役割を担う可能性を示唆する。一方で、AI は医学的責任を持たず、誤った情報を含むリスクもあるため、安全性や倫理面での慎重な検討が求められる。AI の活用が医療者の負担軽減と患者ケアの質向上の両立につながるかは、今後の臨床現場での実証が必要である。

図：患者からの質問に対する医師とAIチャットボットの回答における「質」と「共感性」の平均評価の分布



3名の医療専門職による平均評価をもとに、評価の分布を示した図である。曲線の高さは、その水準の評価が多いことを意味する。
Aは質の評価、Bは共感性の評価を表す。

１）本文および図を参照し、AI チャットボットと医師の回答の違いについて分析しなさい。

図から読み取れる「質の評価」と「共感性の評価」の分布傾向と平均値の差に注目し、本文に記された回答の分量（語数の中央値）とあわせて、200 字以内で説明しなさい。

２）研究結果を踏まえ、今後の医療現場における AI 活用の可能性と課題について論じなさい。以下のキーワードを必ず含めて、250 字以内でまとめなさい。

キーワード：「共感的態度」「信頼」「医療者の役割」

問２　次の文章は、地方の医療現場の実情を伝える報道の一部です：

「地方都市では人口減少や医師不足により、病院の廃止や診療継続が困難になった事例が相次いでおり、地域医療の危機として広く注目されています」

一方、日本には所得に応じた保険料を支払うことで、全国どこでも必要な医療を受けられることを理念とした国民皆保険制度があります。

これらの情報を参考に、2040 年の地方都市における医療の状況を予測し、その時点で、日本の医療制度に公平性の観点からどのような問題が生じるかを、400 字以内で論じなさい。